

卒業生の今 2 (3.1.7)

1月1日(金)の山陰中央新報で「コロナで変わる世界」というテーマにおける島根大学生の座談会メンバー4人のうち2人が松江農林高校の卒業生であった。

1人のインタビュー内容を「卒業生の今1」で以前に記載した。

他1名は12月31日(木)の山陰中央新報でも「持田小卒業生県外在住者と会話：オンラインで新成人実感」の記事で主役であった。私が卒業生にインタビューした内容は次のとおりである。

「地域の人と話をして繋がり、特に農家の方の課題を解決する楽しさを今も実感しています。在学中は『トルコギキョウの鉢栽培』というテーマで課題解決に取り組みました。連作障害：フザリウム菌による被害を防止するために農家の方と連絡をとりながら試行錯誤しました。聞く力と伝える力のスキルも高まり、現在、地域での課題解決を推進する力に繋がっていると思います。松江農林高校で取り組んだ実習：五感を使うことで地域と関わるスキルが確実に身につきました。本当に感謝しています。経済や商業についても学習して幅広い知識を活用できる農業に係る専門技術職を目指します。」

頼もしい。現在の在校生と交流して感化を与えて欲しい。



<在学時の収穫祭での挨拶場面>

